

所 属	白神自然環境研究センター	氏 名	石川幸男
課題名	青森の魅力と食を支える冷温帯林生態系資源のモニタリングとその活用手法の提案		

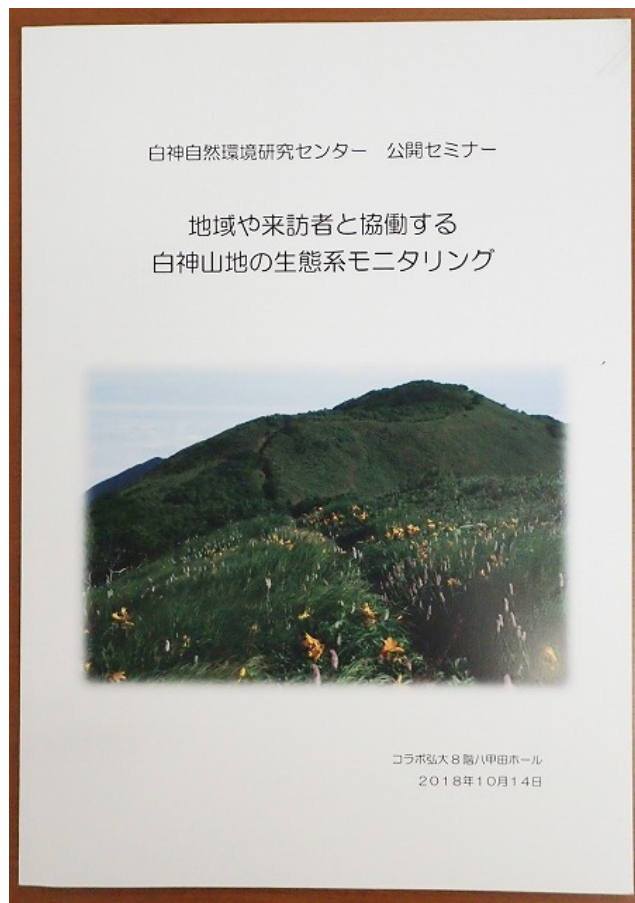
1. 概 要

白神山地を主とした冷温帯林生態系とそれが支えてきた文化・食等を伝承、持続的に機能させるために、環境変動の影響等をモニタリングするとともに、それを教材とした実践的な研修によるインタプリタ（人材）を育成することによって、観光等の地域振興につなげる方策を提案することを目的としている。具体的な内容としてはガイドや市民も参加して生態系・土地・気象変動モニタリングを実施することで、自然の価値や科学的理解に繋げ、来訪者に応じたインタープリテーションのできる人材を養成することと、自然資源を活かしたあらたな観光として、この地域の科学的なモニタリングに住民や来訪者も参加して協働で取り組む調査ツアーに繋げることを目指している。

これまでに、環境変動モニタリングに関しては、岩木川を中心としつつ、白神岳登山道をふくむ白神川流域でもモニタリングサイトを設定してきた。また、主要樹木の成長の気候応答性の解析にも着手した。さらに、これまで記録のない積雪下も含めた昆虫相の把握、林床植物の繁殖特性の解明に取り組んだ。

これらのモニタリングで明らかになりつつあるこの地域の自然の現況と変動実態は、履修証明プログラム「白神自然環境人材育成講座」の参加者にリアルタイムで提供するとともに、講義科目を通じて、受講者の意見を聞きながら講座の内容に刷新を重ね、実施される野外での実践的な実習への体制を整えた。また、昨年度までの2年間では、白神と同様に世界自然遺産として登録されている知床で、管理や観光に取り組む知床財団と共同で、来訪者がいづく調査ツアーへのニーズアンケートを実施し、興味の対象、期間。さらに昨年度は、市民参加型のモニタリングを実施している北海道での先行例を講演するセミナーを10月14日に開催し、40名の参加者と今後の課題について議論するとともに講演の記録集を作成し、この地域で同様の取り組みを実施する際の資料とした。

これらの取り組みを元に、モニタリングを継続しつつ、モニタリング等の自然調査に住民や来訪者が参加して観光ツアーするための試行として実際のモニタリング調査を行うとともに、教材等の検討を進めている。



(1) 10月14日に実施した公開セミナー記録集

2. 画像の説明

(1) 10月14日に実施した公開セミナー記録集